

主な記事

ボランティアグループ助成金の案内

お譲りします・Q & A

社協一般会費納入のお願い

心に残る体験をしよう・町内から被災地へ

3

2

平成22年度事業報告
特別会費に御協力くださった方(事業所)の紹介
家族とすくすくと大きくなあれ・ふくしの風

4
5
6
7

しゃきょう 社協

かみかわ



表紙より：

『今年は8月も実施します』

～見守りを兼ねた給食サービス～

ボランティアの皆様のお力により週に1度、一人暮らし世帯を中心に実施しています。今年は暑中の食中毒予防として、1度で食べきれるご飯の量、配食時には必ず手渡すなどの対策を行っています。

2011年(平成23年)
—8・9月号—
第35号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

2011年8月発行

社会福祉法人 神河町社会福祉協議会 〒679-2414 神崎郡神河町栗賀町630番地 神崎支庁舎内
TEL 0790(32)2303 FAX 0790(32)2700 Eメール k-syakyo@kcni.ne.jp
ホームページ <http://www.shakyo.or.jp/hp/1237/>

「ボランティアグループ活動を より充実させるために…」

平成23年度 県民ボランティア活動
助成エントリーのご案内

・エントリー受付締め切り
8月31日（水）まで

・助成金額
上限3万円

（◇エントリーしたグループ数により減額となる可能性があります。）

・助成申請の条件

平成23年度に県内でボランティア活動を12日以上行う5人以上のグループ、団体。

助成対象経費の支出が、助成金の2倍以上（約6万円）あること。（その他条件あり）

・実施主体

ひょうごボランティアプラザ
（兵庫県社会福祉協議会）

社会福祉協議会事務所（神崎支庁舎内）に所定のエントリー書がありますので、今年度の助成を申請されるグループは来所ください。（助成金申請するグループは、事前申し込みのエントリーが必要です。）
必要事項を記入の上、期日までに社協へ提出してください。



お譲り
します!!

町内の方より
頂きました

長く使って頂ける方に
お譲りします。

必要な方は、8月12日（金）までに社協へご連絡下さい。

手 芸 品



施設の玄関や集いの場所のかざりにいかがでしょうか。

座 布 団 (38 枚)



地域の集会所等でご活用ください。

お気持ち募金箱へお願いします。

Q

A

こんなとき
どうする?

Q



震災関係の報道のなかで、「福祉避難所」という言葉を聞きました。一般の災害避難所とはちがうのでしょうか。

A

「福祉避難所」は、高齢者、障害者、妊産婦や乳幼児、病気の方など、一般の避難所では生活上の支障をきたすおそれのある方々のために、特別の配慮がされた避難所のことです。市町が設置することになっていきます。指定避難所の一部を福祉避難所としたり、自治体と福祉施設が協定を結んで、その施設を活用する、保健・福祉センターなどを活用する場合などが想定されています。福祉避難所については、10人に1人の割合で生活相談職員を配置したり、手すり、スロープなどの設置や必要な消耗品を確保するために補助を受けることができます。

『皆様の会費が地域福祉を支えます』

神河町社会福祉協議会は、高齢や障がいの方々への福祉サービスを提供したり、ボランティア活動を積極的に支援したりするなど、地域福祉事業を展開しておりますが、その要となる法人運営を行ううえで、このたびの社協会費が大変重要な財源となります。昨年度は、町内の3,414世帯から総額5,121,000円の会費を納めていただくことができました。

助け合い、支えあいの精神のもと住民の皆様ひとりひとりが社会福祉協議会の一員であり、その会費を納入下さることで、住民の皆様が社協活動の理念である「誰もが安心していい」に参加いただく第一歩となります。

◇ 一般会費額

1世帯あたり

1,500円

(各区長様に取りまとめをお願いしております。)

一般会費を利用した事業の内容は

- ・福祉サービス利用援助事業(判断能力が不十分な方への日常的な金銭管理のお手伝いや介護保険申請などサービスを利用する際の手続き)
- ・ボランティア活動支援・広報紙発行などに充てられます。

心に残る体験をしよう

くどもサマーボランティアスクール参加者募集く

今年は寺前付近を調査して、「誰もが住みやすい町づくり」や「だれでも利用しやすいさ度」を調べて福祉マップを作ってみよう。

指導

ケアステーションかんざき
作業療法士 西本 寛さん

【対象】

町内の小学4・5・6年生

【日時】

8月25日(木) 9時～16時

【集合場所】

大河内保健福祉センター

【参加費】

不要

※参加希望の方は、8月2日(火)までに電話で社協まで申し込んでください。



(写真は昨年度の様子)



町内より4名が参加！震災ボランティアバス

【宮城県石巻市へ】

西播磨11市町社協が共催して4月より7月の間計4回、西播磨地域に住む住民の方を募集し、東北の被災地へボランティアバスを出してきます。

7月にあった募集に町内の方が初めて参加され、社協では帰町後に報告会を開催し、参加者からは、現地では分からない状況や被災者の声などを伝えて頂きました。



ーボランティアに参加された

40代女性、60代男性よりー

◇『行く前は自分に体力、気力が無く、現地に行っても役に立つか不安だったが、行ってみて少しでも被災者の役に立ったと思う』

◇『勇気を出して一歩を踏み出せば、そこから変わっていくことが実感できた。』

◇『次回もこのような募集があればぜひ行ってみたい!!』

と力強い報告をうけました。

3泊4日と短い活動で、3日目の昼過ぎには地震がおき、津波注意報のため活動中断になりましたが、『大勢の力で被災地は復興に向かっている』と感じられたそうです。参加された4名の皆さん、ご苦労様でした。

平成22年度事業報告

介護保険サービス事業の課題

21年度に介護報酬と新たに設けられた加算により収入実績が改善されました。しかし22年度は再び減収に転じており、経営対策を講じる必要が出てきています。

また事業従事者を確保するため登録介護職員を募集したが、全く応募がない状態で、福祉の人材確保の難しさを改めて実感いたしました。

募金、会費、寄付金の預託状況

社協が住民や事業所に対して協力を求める募金や会費については、これまでは長引く不況の影響を受けることなく実績が堅調でしたが、22年度は寄付金が大きく減少しており、早急に分析する必要があります。

理事会の執行機能

5月に評議員会で任期満了に伴う役員の選任を行い、続いて理事会で新会長・副会長の選任を行いました。理事会は法人運営の執行機関であることから、定期開催に加え、事業へ出役することでより一層の活動の状況把握を試みました。

活 動 項 目	主 な 事 業 の 活 動 結 果
い き が い 交 流 活 動	<ul style="list-style-type: none"> * “まちの子育てひろば” への活動助成 234,841 円 / 8 団体 * 老人憩いの日設定事業（共催事業）[10 月 2 日] 92 名参加 * 外出する機会のない方の“楽しもう会” 毎月 1 回
地 域 福 祉 ・ 在 宅 福 祉 サ ー ビ ス	<ul style="list-style-type: none"> * 福祉給食サービス 5,251 食 / 年 * 介護用ベッドの貸出 29 件 車椅子の貸出 38 件 * 善意銀行地域づくり助成 449,000 円（9 集落） * 病院車椅子送迎サービス 833 回 / 年 * 粟賀までのお買い物送迎 [新田・作畑・上小田] 月 1 回 * 介護用紙おむつの販売 2,442,552 円 * たまゆらの会（介護者の会）事務局
ボランティア活動支援	<ul style="list-style-type: none"> * ボランティア活動助成 1,815,000 円（61 団体、1 個人） * 福祉協力校活動助成 768,340 円（9 校） * 子どもサマーボランティアスクール [8 月 26 日、27 日] * お話し相手ボランティア養成講座、要約筆記講座
広 報 ・ 啓 発 活 動	<ul style="list-style-type: none"> * 広報紙「社協かみかわ」発行 6 回 / 年 * 誰でもちょっといいこと運動（6 月） * 福祉懇話会（16 集落）
お 困 り ご と 相 談	<ul style="list-style-type: none"> * 心配ごと相談 [毎月] 16 名利用 * 弁護士法律相談 [偶数月] 35 名利用 * 生活資金貸付けの受付 4 件
歳 末 た す け あ い 募 金 の 配 分	<ul style="list-style-type: none"> * 自宅療養者とその介護者への支援 629,374 円（79 件） * 低所得世帯児童生徒への支援 490,048 円（82 件） * 子どもの健全育成イベント、施設の遊具助成 538,910 円 * 高齢者の大掃除代行サービス 50,680 円（13 件）
自 主 財 源 活 動	<ul style="list-style-type: none"> * 6 月 “善意の募金” 1,670,094 円 * 善意銀行金銭預託 4,595,713 円（106 件） * 社協会費 5,723,000 円（3,414 世帯、104 事業所、個人 3 名） * チャリティバザー売上 680,010 円（※赤十字奉仕団とで折半）
在 宅 介 護 サ ー ビ ス 事 業	<ul style="list-style-type: none"> * 介護保険サービス収入 [] は前年度増減比 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームヘルパー 19,079,114 円 [- 16.3%] ・ 訪問入浴 10,672,320 円 [- 5.7%] ・ ケアマネジャー 20,317,500 円 [+ 5.8%] * 障害者自立支援サービス収入 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームヘルパー 6,423,150 円 [+ 5.3%]

神河町社会福祉協議会

22年度は、福祉懇話会や役職員研修を実施し、災害時における迅速かつ適切な行動がとれる社協を目指しました。また、地域福祉推進計画においては最終年度となり、計画した活動は概ね実施できましたが、やり残した活動もあります。

今、社会意識の変化が進んでおり、これからも地域住民から頼られる社協であるよう、各事業の意義や効果をしっかり把握しておく必要があります。そのためには、地域に出向き、住民ニーズや福祉課題をきちんと認識していくことが大切です。これらの積み重ねが、住民から協力いただく募金や会費、寄付金に反映され则认为ます。

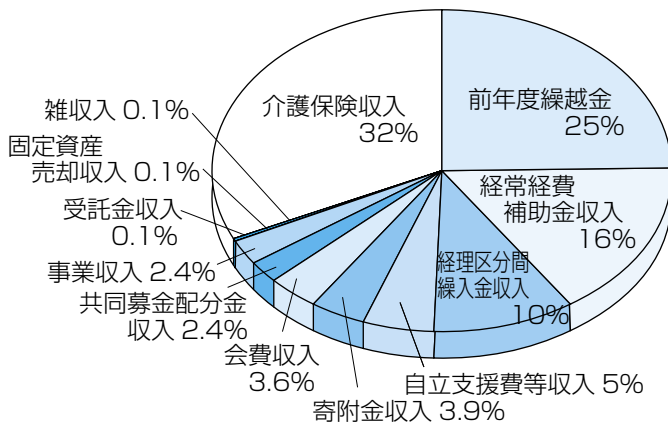
地域福祉推進計画「まごころ安心プラン」の最終年度

3ヶ年の推進計画の最終年度は、これまで達成されていない項目も含め取り組みました。概ね出来ましたが、一部滞った項目もあり、23年度において実行します。

災害時にとるべき社協の行動、役割

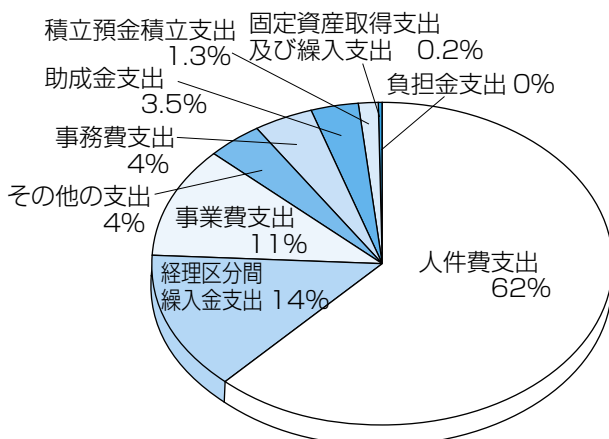
まずは「社協災害対応マニュアル」と「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を策定しました。次に、7月に役職員研修会を開催し、マニュアル内容の確認と点検を行い、災害時における役職員の初動体制などを再認識いたしました。また11月からは16集落を巡回しての福祉懇話会を開催し、防災意識の高揚と災害時にとるべき社協の役割についての説明などを行いました。

【法人運営・介護保険事業収入】



科 目	説 明	決算額 (円)
前年度繰越金	前年度からの繰越金	39,072,807
経 常 経 費 補 助 金 収 入	人件費等の必ず要する費用に係る町や県社協からの補助金収入	25,832,262
経 理 区 分 間 繰 入 金 収 入	社協会計単位内における他の経理区分からの繰入金収入	15,692,052
自 立 支 援 費 等 収 入	障害者自立支援居宅サービス等に関する収入	7,405,349
寄 附 金 収 入	善意銀行への寄付金と「善意の募金」収入	6,265,807
会 費 収 入	世帯及び事業所等から納入される会費収入	5,723,000
共 同 募 金 配 分 金 収 入	「赤い羽根募金」と「歳末助け合い募金」の配分金	3,878,012
事 業 収 入	事業の参加費、利用料及びチャリティバザーなどの収入	3,844,557
受 取 利 息 配 当 金 収 入	預貯金等の利息及び配当金等の収入	194,508
受 託 金 収 入	町や県社協から委託された事業のための収入	117,522
固 定 資 産 売 却 収 入	固定資産を売却したことによる収入	41,000
雑 収 入	上記のどれにも属さない収入	40,385
介護保険収入	介護保険介護サービス等に関する収入	51,107,230
収入合計（前年度比 4.9%減）		159,214,491

【法人運営・介護保険事業支出】



科 目	説 明	決算額 (円)
人 件 費 支 出	常勤職員、非常勤職員等に支給する人件費	69,825,793
経 理 区 分 間 繰 入 金 支 出	社協会計単位内における他の経理区分への繰入金支出	15,692,052
事 業 費 支 出	事業に直接要する費用	11,938,056
そ の 他 の 支 出	退職手当積立による支出	4,919,652
事 務 費 支 出	法人や事業の運営事務に要する人件費以外の費用	4,306,108
助 成 金 支 出	ボランティア団体、福祉指定校等への助成金の支出	3,810,662
積 立 預 金 積 立 支 出	積立預金の積立による支出	1,500,000
固 定 資 産 取 得 支 出 及 び 繰 入 支 出	備品などを固定資産として取得するための支出	229,005
負 担 金 支 出	県社協職員協議会への負担金支出	71,000
支出合計（前年度比 12.5%減）		112,292,328

*差し引き 46,922,163 円 次年度へ繰り越し

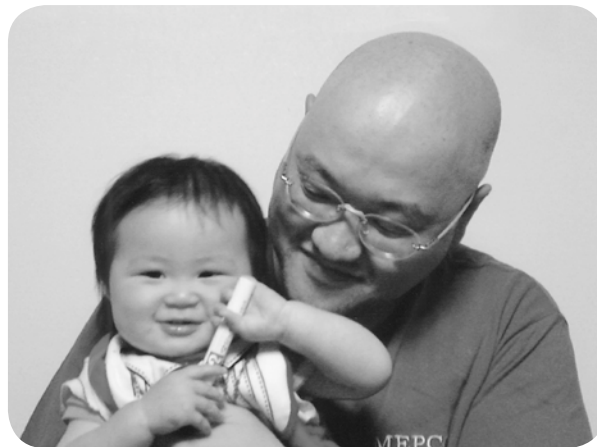
おめでとう！ 1歳の誕生日

～7・8月生まれのおともだち～



立岩 ^{そら}大昊くん（寺前）
立岩友之さん宅のお子様

笑顔いっぱい、元気いっぱい大きくなってね。



佐藤 ^{ゆずね}柚寧さん（寺前）
佐藤美砂妃さん宅のお子様

大きく元気にいつも笑顔に育ってね！



☆赤ちゃん和家人の写真募集中☆

9月、10月に1歳のお誕生日を迎える赤ちゃん和家人一緒にの写真を募集しています。赤ちゃん和家人みんなで、ご両親と、おじいちゃん・おばあちゃんと一緒になど、そのご家族の‘色’が出た写真をご持参ください。写真またはデータを窓口までご持参ください。記入用紙は社協窓口か、HPの申請用紙からダウンロードできます。

（より幅広い世代に見ていただくため、赤ちゃん和家人の方が一緒に写っている写真を募集します。）
締め切り…8月26日（金）

ふくしの風

東日本大震災の直後、被災地域を中心とした深刻な雇用喪失の状況が続いたにもかかわらず、計画停電の影響などもあって、大企業の下請けなどを中心に「便乗解雇」や「雇止め」が大量に発生したと聞く▼また、一方で日雇い労働者の求人数が増えているという。これは、バブル崩壊後の長期不況のなかで一時的に日雇い労働者の求人突出したあの阪神淡路大震災後と同じような動きらしい。当時は、違法求人の横行や危険な作業現場での労災事故も増えた。今も、関係者の間では「危ないときの使い捨て要員」とささやかれているという▼そして、この夏。「節電」のもと、大企業を中心にサマータイムや土日出勤の導入、在宅勤務が広がっている。それは、従来の働き方を見直すよい機会ともなる。しかし、その陰で、派遣社員の契約打ち切り…中小企業が逆に休めない…保育ニーズに対応できない…といった「しわ寄せ」も指摘されている▼働く環境は、社会の動きの影響を強く受ける。しかも、弱い立場の人々への偏った負担の集中につながりかねない。介護や福祉の現場もそのなかに含まれる。みんなが働きやすいルールづくりのもと、復興にむけた雇用創出と介護、福祉分野でのよりよい形での雇用拡大を願わずにはいられない。

【善意銀行】

(5月18日～7月20日) (敬称略・受付順)

住 所	氏 名	
川 上	藤 原 龍 彦	供養として
山 田	神 崎 紀 子	供養として
栗賀町	小 林 譲	供養として
中 村	保 西 信 介	供養として
作 畑	井 上 新 作	供養として
東柏尾	山 名 き く ゑ	供養として
貝 野	安 田 憲 孝	供養として
預託金額合計		275,000 円

皆様からの善意銀行への預託金は、町内で活躍するボランティアグループの助成金や、高齢者給食サービスの材料代、心配ごと相談、町内小中学校・高校のボランティア活動などに使われています。皆様の温かいお気持ちに感謝を致します。

『災害ボランティア活動サポート募金』

＜福幸屋 of 本村＞より、ほたるまつり福幸くじバザー売上金を寄付いただいています。この募金はこの他にも、合計で22,543円(募金箱含む)のご協力をいただいています。募金は赤い羽根共同募金委員会を通じて東日本大震災の復興支援を行っているボランティア団体やNPOに配分されます。社協では、窓口に募金箱を置いてありますので、ご協力をお願いいたします。

消費者被害無料法律相談会

消費者問題に関する悩みごとはありませんか

《実施日》

(H 23) 8/27、9/24、10/29、11/26、12/17

(H 24) 1/28、2/25、3/24

《時 間》 10時～12時

※お一人40分程度で弁護士が無料でご相談に応じます。予約が必要です。相談日の前日までにお電話ください。

《申し込み先》

兵庫県弁護士会姫路支部主催

☎ (079) 286-8222

編集後記

先日、職場近くの草刈りをしていて目の前からバタバタと飛び立ったものが、なんとキジでした。足をみると8つの卵が。母鳥には危うく草刈り機で大けがを負わせてしまうところだったのですが、新たな命を守ろうとする母鳥の姿に心打たれた夏のある日でした。

感謝のお知らせ

(5月18日～7月20日)

(敬称略・受付順)

【収集ボランティア】

《古切手・ベルマーク・テレホンカード》

・(株)マジマ自動車 (柏尾)
・前嶋眞知子 (寺前)
・市川高等学校
・播州そばの学校
・はりまハングル研究会
・中野佳代子 (刈)
・中野玉枝 (刈)
・藤原 繁子 (大河)
・共栄ゴルフ工業 (市川町)
・山下 洋子 (鍛冶)
・黒田ゆり子 (新野)
・大河内郵便局 宇崎太一
・大河内郵便局 (栗)
・前嶋 昭夫
・役場健康福祉課
・岩本 和美 (寺前)

【物品預託】

・藤原 勉 (長谷)

・匿名 手芸品

・匿名 座布団

・藤永 和明 (貝野)

・福本老人クラブ

・雑巾

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

・匿名 介護用品

社協相談所カレンダー

(相談は無料です)

月	日	心配ごと相談 (人権・行政・各種) 第2金曜日 13:00～16:00	法律相談 (弁護士) 偶数月・第4水曜日 13:30～17:00
8	12	大山区公民館	
	24		神崎支庁舎(齋藤護弁護士)
9	9	南小田区公民館	

《法律相談》

※法律相談は完全予約制で、予約をされずに来られても相談は受けられません。相談時間はお一人20分間です。また、同じ案件でのご利用は、2回までとします。

《心配ごと相談》

※相談員は、行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員です。

※心配ごと相談は完全予約制で、予約されずに来られても相談は受けられません。

※前日までに予約が無い場合は、当日の相談は中止となります。

若者たちよあつまれ！

災害支援学生ボランティア募集

《日程》

① 7月25日
② 8月7日
③ 8月9日
④ 8月15日
⑤ 8月19日
⑥ 8月21日
⑦ 8月23日
⑧ 8月25日
⑨ 8月27日
⑩ 8月29日
⑪ 8月31日
⑫ 9月2日
⑬ 9月4日
⑭ 9月6日
⑮ 9月8日
⑯ 9月10日
⑰ 9月12日
⑱ 9月14日
⑲ 9月16日
⑳ 9月18日
㉑ 9月20日
㉒ 9月22日
㉓ 9月24日
㉔ 9月26日
㉕ 9月28日
㉖ 9月30日
㉗ 10月2日
㉘ 10月4日
㉙ 10月6日
㉚ 10月8日
㉛ 10月10日
㉜ 10月12日
㉝ 10月14日
㉞ 10月16日
㉟ 10月18日
㊱ 10月20日
㊲ 10月22日
㊳ 10月24日
㊴ 10月26日
㊵ 10月28日
㊶ 10月30日
㊷ 11月1日
㊸ 11月3日
㊹ 11月5日
㊺ 11月7日
㊻ 11月9日
㊼ 11月11日
㊽ 11月13日
㊾ 11月15日
㊿ 11月17日

《活動場所》

宮城県石巻市を拠点として、宮城県内・岩手県内で泥かき、がれき撤去等の活動を行います。

《対象者》

① 昭和63年4月1日～平成8年4月2日生まれの方
② 高等学校、専門学校、大学、大学院に在籍している方

《お問い合わせ先》

特定非営利活動法人
生涯学習サポート兵庫
☎ (079) 230-0661